

今話題の亜リン酸液肥、病気に強くなり生育の旺盛さは注目です！

農薬取締法改正、ポジティブリスト制度化など生産者にとっても農薬に依存した栽培体系からの脱皮が求められてきています。そんな中で耐病性向上などの効果から注目されている亜リン酸液肥についての話題。

弊社農場における試験結果を見てください。根量・地上部草丈、株張りなどいずれも亜リン酸投与区が勝っており生育の旺盛さが際立っていることが見てとれます。亜リン酸はリン酸に比べ、水にとけ易く根から素早く

吸収されると云われており、摂取した亜リン酸はリン酸に変わるものと一部直接亜リン酸として吸収されるなどの効用だと考えられます。ホーレン草・トマトのコンテナ試験は本年8月に実施したのですが根量、根色、太さなどの違いは明らかです。本圃への適用例でも夏場のホーレン草本圃(水量1t、48穴パネル40枚)に使用し、べと病にかかりづらく耐病性効果が顕著だったと竹内農場長の話。従来は1作毎にベッドを熱殺菌処理し

ていたが3作もこの操作無しで栽培継続でき株張りも旺盛だった。レタス農家でも夏場の軟腐病発生が減少したなど抵抗性改善効果は顕著です。使用方法は1号用原液タンク100ℓに亜リン酸10を混ぜるだけで簡単。

弊社取り扱い亜リン酸は24kg入で18,000円と割安価格となっており、既にみつば農家、レタス農家でも導入が始まっています。脱農薬時代の養液管理適正化維持ツールとしてご利用ください。(編集子)



ネギの試験



亜リン酸区



荷姿(24kg)



対照区



内部(ポリタンク)



亜リン酸区



ホーレン草・トマトの試験

対照区